

令和7（2025）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

種名	アカガレイ	対象水域	太平洋北部（青森県～茨城県）
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター、 青森県産業技術センター水産総合研究所、 岩手県水産技術センター、宮城県水産技術総合センター、福島県水産資源研究所、福島県水産海洋研究センター、茨城県水産試験場	協力機関名	

1. 調査の概要

青森県（佐井村以東）、岩手県、宮城県、福島県および茨城県の県内主要港の月別漁業種類別水揚量を集計し、漁業種別の各県の漁獲量の推移と県別の漁獲量の推移を求めた。また、東北太平洋の青森県～茨城県の沖合にて若鷹丸により実施された底魚類資源量調査（以下、「トロール調査」という）の結果に基づき現存量を推定した。

2. 漁業の概要

太平洋北部において、本種は主に底びき網や刺し網で漁獲されるが、主体となる漁法は県によって異なっていた。青森県と茨城県では、沖合底びき網漁業と小型底びき網漁業による漁獲量が大部分を占めていた（図1）。岩手県では沖合底びき網漁業と底刺し網漁業による漁獲量が大部分を占めていた。宮城県と福島県は沖合底びき網漁業による漁獲量が大部分を占めていた（図1）。

太平洋北部における漁獲量は、各県データの集計年数が異なり、全体量の推移は不明瞭ではあるが、2000年代前半に増加して2000年代後半は比較的多かったと推察される。岩手県～茨城県の漁獲データが得られている2000年以降では、2009年が最高で、青森県も含めた全県の漁獲量は870トン記録した（図2、表1）。しかし、その後、2011年に東日本大震災（以下、「震災」という）が発生し、操業状況が大きく変化したことにより、2012年に福島県は漁獲がない状態となり、また宮城県の漁獲量も大幅に減少し、2012～2016年は、150～260トンで推移した。2017年にさらに減少し、2018年以降は100トン未満と低い水準が続いており、2024年は過去最低の15.1トンであった（図2、表1）。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：水深 40～900 m の砂泥底に分布。
- (2) 年齢・成長：東北太平洋は他の海域に比べて成長が早く、雌は 1 歳で体長約 11 cm、

- 2歳で15 cm、3歳で18 cm、4歳で21 cm、5歳で24 cm、11歳で32 cmほど、雄は1歳で体長約9 cm、2歳で15 cm、3歳で17 cm、4歳で19 cm、5歳で20 cmほどになる(北川ほか 2004)。また本種は加齢に伴って成長が鈍化することが報告されている(岩川ほか 2013)。寿命は雌で15歳程度と推定されており、雄の方が短いとされる(山田ほか 2006)。
- (3) 成熟・産卵：50%成熟年齢は雄で4歳、雌で5～6歳(山田ほか 2008)。産卵は100 m以浅の各地の沿岸域で行われることが知られている(山田ほか 2008)。
- (4) 被捕食関係：クモヒトデ類、二枚貝類、エビ類、オキアミ類、小型魚類、イカ類など様々な餌生物を利用する。

4. 資源状態

青森県～茨城県における漁獲データが得られたのは2007年以降である。また、福島県や宮城県の漁獲量が2012年に大幅に減少しているのは、震災による漁獲努力量の低下の影響と推察され、漁獲量は資源状態を反映しているわけではないと考えられる。

本報では、1995年以降の東北海域におけるトロール調査に基づく現存量(採集効率を1.0と仮定した指数、表2)を用いて水準と動向を判断した(図3、藤原ほか 2024)。現存量は1995～2001年に増加し、2001年に1,000トンを超え、2002～2006年は800～1,100トンで推移した。2007年は増加して1,838トンとなり、2012年まで1,100トン以上で推移した。2013年以降は断続的に減少し、2017年は163トンとなり、その後も低迷している。現存量の平均値よりも30%以上多い場合を高位水準、30%以上少ない場合を低位水準とした(高中位境界=937トン、中低位境界=504トン)。2024年は35トンで平均値のわずか5.0%であったことから、水準は低位と判断した。また、直近5年間(2020～2024年)の現存量は断続的に減少しており、動向は減少と判断した。

5. その他

現在、資源水準が低迷しており、努力量の増加に留意するとともに、操業状況を詳細に把握することが重要である。

6. 引用文献

- 藤原邦浩・富樫博幸・森川英祐・時岡 駿・鈴木勇人・三澤 遼・永尾次郎・成松庸二 (2024) 2024年底魚類現存量調査結果. 東北底魚研究, 45, 95-124.
- 岩川浩大・高橋豊美・高津哲也・稲垣祐太・中谷敏邦・前田辰昭 (2013) 北海道噴火湾におけるアカガレイ *Hippoglossoides dubius* の成長様式. 日水誌, 79, 10-19.
- 北川大二・片山知史・藤原邦浩 (2004) 東北海域におけるアカガレイの分布と成長. 水産海洋研究, 63, 151-157.
- 山田 学・上田祐司・服部 努・山廻邊昭文・吉田哲也 (2006) 常磐海域で漁獲されたアカガレイの生態と資源診断. 福島水試研報, 13, 19-36.
- 山田 学・山廻邊昭文・佐藤美智男・吉田哲也・河合 孝 (2008) 福島県沖合海域におけるアカガレイ雌の成熟と産卵期. 日水誌, 74, 849-855.

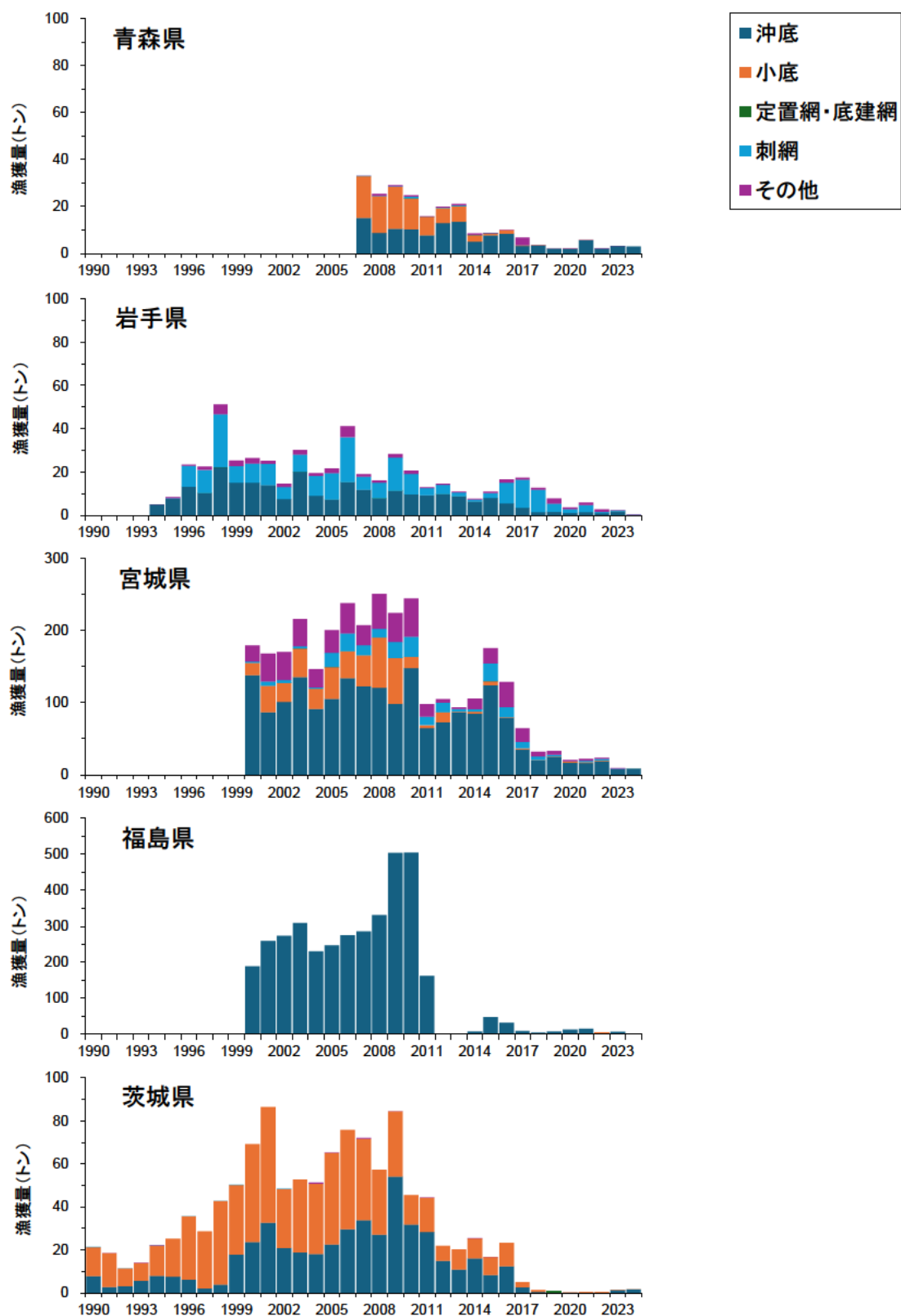


図1. 県別漁業種別の漁獲量の推移

青森県は2007年以降、岩手県は1994年以降、宮城県・福島県は2000年以降、茨城県は1990年以降の集計値である。

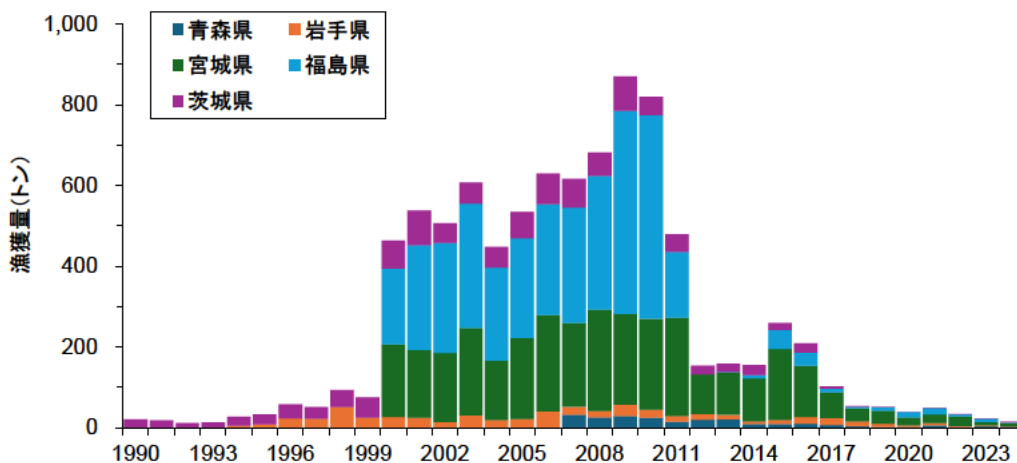


図2. 県別漁獲量の推移

青森県は2007年以降、岩手県は1994年以降、宮城県・福島県は2000年以降、茨城県は1990年以降の集計値である。

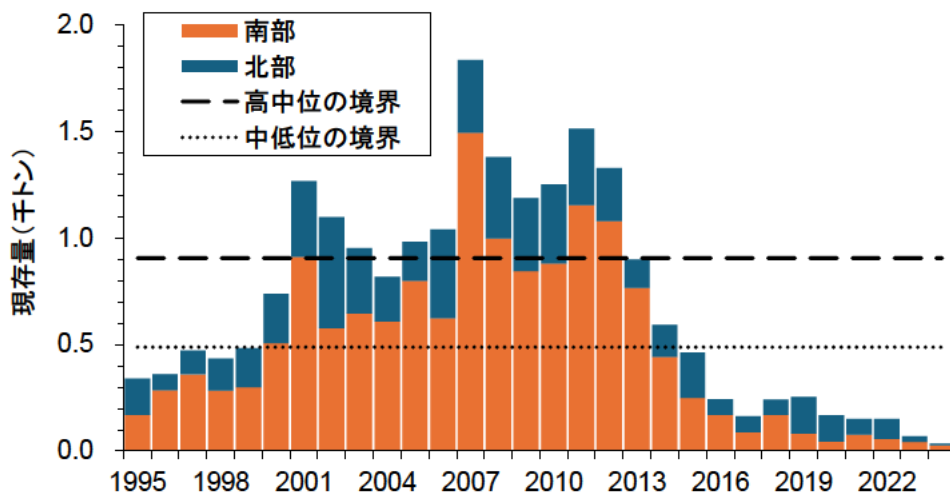


図3. トロール調査に基づく現存量の推移

北部は青森県八戸沖～岩手県大船渡沖、南部は宮城県金華山沖～茨城県日立沖。

表 1. 各県の漁獲量の推移（トン）

	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	
青 森									
岩 手					4.9	8.3	23.4	22.5	
宮 城									
福 島									
茨 城	21.3	18.5	11.3	13.9	22.1	25.2	35.4	28.6	
合 計	21.3	18.5	11.3	13.9	27.0	33.5	58.8	51.1	
	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
青 森									
岩 手	51.4	25.3	26.4	25.2	14.6	30.2	19.5	21.7	
宮 城			179.7	168.0	170.7	216.5	146.7	200.6	
福 島			188.7	259.0	272.8	308.6	230.6	247.5	
茨 城	42.6	50.1	69.2	86.3	48.3	52.6	51.2	65.1	
合 計	94.0	75.4	464.0	538.8	506.4	607.9	448.0	534.9	
	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
青 森		33.0	25.4	29.1	24.7	15.8	19.9	21.1	
岩 手	41.1	19.0	16.1	28.3	20.5	12.9	14.5	10.8	
宮 城	238.2	207.4	251.5	224.6	224.6	244.6	98.2	105.1	
福 島	275.1	285.4	330.9	503.9	504.4	162.1	0.0	1.4	
茨 城	75.8	72.0	57.3	84.3	45.4	44.2	21.9	20.2	
合 計	630.2	616.8	681.2	870.2	819.6	479.6	154.5	158.6	
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
青 森	8.6	8.6	10.0	6.8	3.6	2.0	2.0	5.6	
岩 手	7.7	10.9	16.5	17.3	12.7	7.7	3.6	5.9	
宮 城	106.1	175.5	127.6	63.9	31.4	32.7	20.6	22.2	
福 島	7.8	47.7	31.9	9.2	5.0	8.5	13.0	15.2	
茨 城	25.3	16.6	23.2	5.0	1.3	0.5	0.2	0.5	
合 計	155.5	259.3	209.2	102.2	54.0	51.4	39.4	49.4	
	2022	2023	2024						
青 森	2.2	3.2	2.9						
岩 手	2.2	2.3	0.3						
宮 城	23.9	9.1	8.8						
福 島	5.4	7.7	1.6						
茨 城	0.4	1.4	1.5						
合 計	34.1	23.7	15.1						

表 2. トロール調査に基づく現存量の推移（トン）

北部は青森県八戸市沖～岩手県大船渡沖、南部は宮城県金華山沖～茨城県日立沖。

年	北部	南部	合計
1995	172	169	341
1996	76	287	362
1997	111	360	471
1998	152	284	435
1999	184	300	484
2000	233	506	739
2001	358	912	1269
2002	522	577	1099
2003	307	646	953
2004	211	608	819
2005	183	801	984
2006	416	626	1041
2007	341	1497	1838
2008	385	998	1383
2009	344	845	1189
2010	372	880	1252
2011	359	1156	1514
2012	249	1081	1330
2013	133	767	900
2014	151	443	594
2015	212	250	462
2016	74	169	243
2017	76	87	163
2018	73	168	242
2019	173	81	255
2020	124	44	168
2021	73	78	151
2022	96	56	152
2023	27	42	69
2024	8	27	35